
論文概要

●研究成果物

論文タイトル 消費者の行動特性と非常時の商品購入価格
ーコロナ禍における購買データを用いた分析ー

著 者 稲倉 典子 ^{1),4)}、坂本 有芳 ^{2),4)}、松田 絢子 ^{3),5)}

1) 四国大学経営情報学部准教授

2) 鳴門教育大学大学院学校教育研究科教授

3) 関西大学経営学部准教授

4) 消費者庁新未来創造戦略本部国際消費者政策研究センター客員主任研究官

5) 消費者庁新未来創造戦略本部国際消費者政策研究センター客員主任研究官（～2025年3月末）

●論文要旨

本研究は、新型コロナウイルス感染症拡大期における商品購入価格と消費者の特性との関係进行分析した。徳島県内の生協組合員を対象としたアンケート調査と購買データを用い、消費者特性スコア（物と空間の管理、収支管理、情報収集、同調傾向）別に購入商品の価格指数を算出した。その結果、食料品全般では違いがみられなかったのに対し、品不足であった穀類の価格指数には消費者特性による差があり、特性スコアが低い消費者は割高な消費をしている傾向が見られた。非常時に消費者が過剰な購入をしないための教育として、平時より注意深い情報収集や物と空間の管理能力を高める取組みの必要性が示唆される。

キーワード：コロナ禍、消費、購買データ、価格指数